



桜井木材協同組合



イチ押し取り組み

当組合では地域の森林資源を持続的に活用するために密植、多間伐、長期育成という方法で育てられた良質な木材を合法伐採木材として認証、流通させる体制を整備している。さらに奈良県フォレスターアカデミー卒業生を積極的に採用することで、木材業界の次世代を担う人材の雇用維持、拡大にも注力している。また木の魅力を伝えるために地元小学校への学習机、椅子の納品、木工教室の普及活動などを行い、環境保全と地域経済発展の両立を目指している。



企業概要

1908(明治41年)桜井木材業組合として発足、49年に中小企業等協同組合法施行に伴い、桜井木材協同組合へ改組。2022年9月には奈良県銘木(協)、(株)菅生銘木市場とともに奈良県内最大規模の県産材を主とする原木、製材品市場である「ウッドメッセ奈良」を創設。主な事業内容は原木市場の運営、組合員の事業経営支援、技術向上のための教育支援、情報の提供ならびに組合員に対する福利厚生である。(現在の組合員数は79社)

企業情報

代表者：菅生 康清
業種：協同組合
住所：奈良県桜井市栗殿350番地
電話番号：0744-42-3535
URL：www.sakurai-mokkyo.or.jp

